

惑星科学研究センター 第一回衝突実験実習 2ndサーキュラー

神戸大学 惑星科学研究センターは、G-COEプログラム「惑星科学国際教育研究拠点の構築」の事業として、大学院生を対象とした衝突実験実習を下記のように開催しますので、奮ってご参加ください。

記

主催:神戸大学 惑星科学研究センター
/神戸大・北大G-COEプログラム「惑星科学国際教育研究拠点の構築」

開催スケジュール:

前期:2009年2月23日(月)午前~2009年2月27日(金)夕方

後期:2009年3月16日(月)午前~2009年3月18日(水)夕方

開催場所:

神戸大学六甲台キャンパス

世話人:荒川政彦(名大)、門野敏彦(阪大)、杉田精司(東大)、
中村昭子(神戸大)

講師:荒川政彦(名大)、山田功夫(中部大)、大野宗祐(岡山大)

協力:三軒一義、瀬戸雄介、山下靖幸(神戸大)、神戸大学工学部工作センター
北海道大学低温科学研究所技術部

【趣旨】

大学院修士・博士課程の学生に対して、実験装置のユーザーレベルから脱却し、保守・管理、装置開発能力を獲得することを目指すための、啓発と基礎訓練の場を提供します。

【プログラム】

前期:講義と実習

2月23日(月)「惑星科学における衝突実験」講義・「真空技術」講義

2月24日(火)「電子回路入門」講義・「電子回路」実習

2月25日(水)「アンプ製作I」実習・「真空技術」実習

2月26日(木)「機械工作I」実習

2月27日(金)「アンプ製作II」実習・「機械工作II」実習

後期:衝突実験

3月16日(月) 衝突銃を用いた実験

3月17日(火) 実験データの解析

3月18日(水) 発表会

【参加形態】

A.前期・後期全日参加

原則として大学院生を対象とします。設備と場所の関係から人数制限があります。多数の申し込みがあった場合は、博士課程院生を優先するなど、こちらで人数を制限させていただきますのでご了承ください。

参加者には、前期の実習内容、および、後期の実験について、html形式での報告書の作成を分担していただきます。

B.前期の講義のみの参加

学部生も参加可とします。後期の見学を希望する場合は、その旨、申し込み書に明記ください。

【参加費及び旅費の補助】

参加費は無料です。また、旅費補助の用意があります。

【宿泊】

神戸大学内の施設を利用することが可能です。

参加形態「A」を優先し、かつ、原則として申込み順とします。

【ホームページ】

<http://epa.scitec.kobe-u.ac.jp/~imex/index.html>

実習に関する情報は随時ホームページに掲載の予定です。

【問合せ先】

山下靖幸(神戸大学)

E-mail: yasuyuki@tiger.kobe-u.ac.jp

お問合せはメールでお願いします。

【参加申込】

本メール最後にあるフォームを埋めて、以下のメールアドレスへお送りください。尚、参加形態が「A」の場合は最後のアンケートに必ずお答えください。応募多数の場合には、選考の際に参考にさせていただきます。

不明な点などあれば、問合せ先までご連絡ください。

申込み〆切: 11月28日(金)

メールアドレス: yasuyuki@tiger.kobe-u.ac.jp

-----<申込みフォーム>-----

なまえ:

名前:

性別:

身分:

所属:

所属TEL:

所属住所:

所属FAX:

email:

指導教員等名:

参加形態:

参加の動機(200字程度):

旅費補助の希望の有無:

神戸大宿舎宿泊希望の有無:

アンケート:

1. 図面の読み書きも含めて旋盤・ボール盤・フライス盤等を用いた機械工作の経験がありますか。もしあるなら、その内容を書いてください。
2. アナログ・デジタル電気回路の工作経験がありますか。もしあるなら、その内容について書いてください。
3. 現在の研究や大学での物理・化学実習で利用経験のある装置・機器を列挙して下さい(例:オシロスコープ、真空計、真空ポンプ、質量分析計等)。
4. 衝突実験装置を用いて行ってみたい実験があればお書き下さい。
なお、装置・周辺機器のスペックは次の通りです。

ガス銃1 衝突速度:10 - 200m/s、弾丸直径:10mm、斜めうち可能。

衝突実験用チャンバー:真空度<1Pa。

ガス銃2 衝突速度:150-250m/s、弾丸直径:3.2mm、斜めうち可能。

火薬銃 衝突速度:400-1700m/s、弾丸直径:15mm、縦撃ち。

高速度カメラ:100万コマ毎秒。
